

事案名	大三島肥海沖の事案（愛媛県38-2）
分類	発見・被災・掃海等処理
資料	・「大久野島周辺海域に投棄された毒瓦斯等の処置について（請願）」昭和46年2月24日〔1〕
資料内容概要	<p>愛媛県大三島町肥海沖で毒ガスボンベが発見され、別の海域に投棄したとされている。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none">・昭和43年5月11日に、愛媛県大三島町肥海沖の神殿島付近で潜水業者が毒ガスボンベ1本（内容不明）を酸素ボンベと思い、宮窪町へ持ち帰り、別の者に引き渡した。ボンベを受け取った人物が同月13日に弁を開けたところ白い泡状の液体が出て青色に変わり、その際に飛沫が口元に飛び散り、意識不明となり病院に搬送された。ボンベは発見者によって別の海域に投棄された、と記載されている〔1〕。